

2026

Guidance on campus information
services and security

一橋大学 情報化統括本部

令和8年度情報環境利用 及び情報セキュリティガイドンス



はじめに

本資料は、令和8年度情報環境利用及び情報セキュリティに関する説明資料です。

学部新生および大学院新生は、本資料をよく確認のうえ、本学の各情報サービスを利用してください。

1. 情報環境利用案内



情報環境利用案内

「情報環境利用案内 第13版」

(<https://www.hit-u.ac.jp/ictc/ismh-data/>)は、学内でコンピュータを利用できる場所、自分で持ち込んだコンピュータを利用できる場所、その他大学の提供する情報サービスについてその利用方法をまとめたものです。

社会のルール、一橋大学のルールを守った上で、大学のサービスを存分に活用して研究や勉学に役立ててください。

なお、この冊子に掲載したもの以外にも、各学部や研究科で独自に提供しているサービスもあります。それらについては所属の学部・研究科等に問い合わせてください。

2. 一橋認証IDとパスワード

IDとパスワード

- 一橋認証IDとは入学時に交付されるユーザIDとパスワードの組み合わせです。本学の情報サービスを利用する際には、一橋認証IDが必要です。
- 専用Webサイトを通して自分でパスワードの変更を行うことができます。
一橋認証ID Maintenance <https://portal.auth.hit-u.ac.jp/>
- なお、パスワードを忘れてしまった場合、パスワードの再発行を受ける必要があります。パスワードの交付を受けた窓口にお問い合わせください。

学生向け情報サービス

- 学生用メール Gmail
- 学務情報システム CELS
- ポートフォリオシステム manaba
- Google Classroom (オンライン授業動画配信)
- 教育・研究用端末
- 附属図書館 MyLibrary
- LL自習室端末
- 1284Wireless (無線LAN)

3. 学内でのPC/インターネット利用

PCの準備

今年度は、対面授業に加え、一部の授業をオンライン形式またはハイブリッド形式で実施する可能性があります。

オンライン授業を自宅等でも受講できるよう、インターネット利用環境及びパソコンの準備に努めてください。

教育・研究用端末

- 情報教育棟

授業利用のPC端末および大学コピーカードを利用できるプリンタが設置されています。詳細は以下ページを参照してください。

<https://www.hit-u.ac.jp/ictc/>

- 附属図書館

情報教育棟と同じ、自由利用のPC端末が設置されています。また、大学院生（システム利用相談員）によるパソコンやメールの使い方などの利用相談を行なっています。

1284Wireless（無線LAN）

一橋大学構成員専用の無線アクセスポイントです。提供エリアは

- 国立キャンパス内の教室・ゼミ室・会議室等、
- 千代田キャンパス内全域(一橋講堂, 宿泊エリアを除く)です。

<https://1284w.cc.hit-u.ac.jp/>



4. メールの利用

一橋大学では、学生、研究者向けにGmailによるメールサービスを提供しています。Gmailは、Google社が提供する電子メールサービスです。また、同じアカウントでGoogle Workspaceの各種機能も利用できます。

詳細は情報基盤センターの以下のページも参考にしてください。

<https://www.hit-u.ac.jp/ictc/services/gws/>

メールアドレス

<一橋認証ID>※@g.hit-u.ac.jp

※学籍番号のアルファベット小文字表記

ログイン方法

<http://mail.g.hit-u.ac.jp>へアクセス。

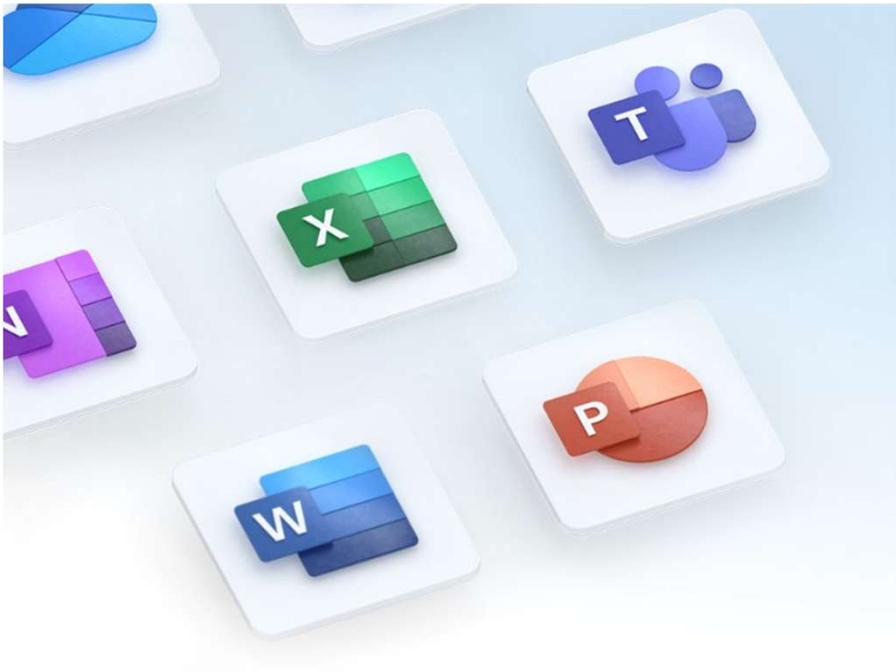
通常のGmail (<https://gmail.com>) へのアクセスでも同様に利用可能です。

メールの有効期限

在籍期限日から60日後の未明に無効になります。

必要なデータがある場合には期限日までに移動してください。大学院進学の場合も、学部時のアカウントの期限は変わりません。

5. Microsoft 365の利用



本学の学生は、在籍期間中に限りMicrosoft 365 Apps for enterprise (Word, Excel, PowerPoint等) をインストールして利用することができます。

本学から交付されたメールアドレス以外は利用できません。

利用条件や方法は以下のページをご確認ください。

<https://www.hit-u.ac.jp/ictc/services/ms365/>

本サービスは、一橋大学とマイクロソフト社との教育機関向け総合契約（EES契約）によるものです。

6. 情報セキュリティ対策について

ID・パスワードをまもる

1. パスワードを他人に教えない
2. 他人に推測されにくいパスワードを設定する
3. 使いまわさない

PC・スマートフォンをまもる

1. OS やアプリを常に最新状態にする
2. ウイルス定義ファイルを最新状態にする
3. メールの添付ファイルをむやみに開かない
4. 非正規のアプリをインストールしない

情報セキュリティ事故を防ぐには、各個人の心がけが最も重要です。対策を怠ると、被害者だけではなく加害者になってしまうこともあります。

これらの基本的な対策を意識して事故を防ぎましょう。

7. 一橋認証ID（アカウント/パスワード）をまもるために

アカウント情報は学内だけでなくインターネット上での本人確認などさまざまな場面で利用されます。正しく使わないと情報の漏えいや不正ログインなどさまざまな被害に遭う可能性があるため、下記の3つのルールを守り利用してください。

① 他人に教えない

- 一橋認証IDを他人に使用させることは禁止されています。友人にも一橋認証IDのパスワードを教えないこと。
- 実在する組織や団体、金融機関（銀行・クレジットカード会社）やショッピングサイトを装ってメールを送り、それらの公式サイトにそっくりな偽サイト（フィッシングサイト）に誘導することで、巧みにIDやパスワードなど個人情報を盗み出す詐欺手法がありますので要注意。

② 推測されにくいパスワード

- 辞書に載っている単語だけの組み合わせや、誕生日、電話番号、メールアドレスの流用等の安易なパスワードを使用しないこと。
- 最近のPCの高速化を踏まえると、ログインパスワードは2種（できれば3種）以上の文字（英語大文字、小文字、数字、記号）の組み合わせで10文字以上、ファイルを暗号化するパスワードは15文字以上あったほうが安全です。

③ 使いまわさない

- 違うシステムに同じパスワードを使うと、そのパスワードから情報漏えいしたり、フィッシングサイトに引っかかって入力した場合、同じパスワードを使っていた他のシステムにも不正アクセスされる可能性があります。
- 特に一橋認証IDのパスワードは利用頻度が高いため、他のシステムと同じにすることは危険です。

8. 情報倫理・リテラシーについて

SNSの利用

近年、X（旧Twitter）などの各種SNS、ブログ等において、自らの不注意な書き込みにより社会的問題になるケースが多く見受けられます。

インターネットは不特定多数の人が閲覧可能であり、内容次第では予想外の誤解を他人に与え、周囲に迷惑を及ぼす可能性もあり、さらには違法な行為と判断される場合もありますので、十分注意・配慮してください。

ID、コード、PWなどの管理

オンラインで配信される講義にアクセスするためのURLや会議ID/コード、パスワード等を、第三者に共有しないでください。

著作権の侵害

講義の教材やスライド等について、みだりに複製して第三者に共有したり、Web上にアップロードすることは、著作権の侵害になる可能性がありますので、厳に慎んでください。

オンラインで配信される講義を無断で録画・録音し、第三者に共有したり、アップロードすることも同様です。

9. 情報基盤センターWebサイト



情報基盤センターWebサイトでは、「情報環境利用案内」よりも詳細な情報や新しいお知らせ、プリンタドライバのダウンロードなどのサービスを提供しています。

<https://www.hit-u.ac.jp/ictc/>

10. 情報セキュリティ意識の向上

意識向上のため、「情報セキュリティ意識向上自己点検」を実施してください。

実施方法：QRコードをスキャンするか、リンクを使用してフォームにアクセスしてください。

提出期限：2026年4月30日



<https://forms.office.com/r/rcKZ0cGcV3>



情報環境利用案内

令和8年度情報環境利用 及び情報セキュリティガイダンス

2026 Guidance on campus information services and security

学内の各種サービスやPC等の教室設備については、利用内容を変更する場合があります。
今後の利用については、常に最新の状況をCELSまたは本学Webサイトにより確認してください。